

2026年度

神戸女学院大学大学院

文学研究科博士前期課程

入学試験要項



神戸女学院大学

目 次

ミッションステートメントと3ポリシー	1
2026年度 大学院文学研究科博士前期課程入学試験要項	
1. 入学定員	7
2. 出願資格	7
3. 試験日	7
4. 試験科目・試験時間割及び試験場	7
5. 受験上の注意	8
6. 出願期間・方法	9
7. 出願手続	9
〔Ⅰ〕出願書類	9
〔Ⅱ〕入学検定料の納入方法	9
〔Ⅲ〕出願要領	9
〔Ⅳ〕出願上の注意	10
8. 志願票・受験票記入上の注意	10
9. 判定結果通知	13
10. 入学手続	13
11. 納付金	14
12. 社会人入学	14
13. 長期履修制度	16
神戸女学院大学大学院文学研究科概要	
英文学専攻 博士前期課程（英文学コース）	18
（英語学コース）	19
（通訳・翻訳コース）	20
（グローバル・スタディーズコース）	22
博士後期課程（英文学コース）	23
（英語学コース）	24
比較文化学専攻 博士前期課程	25
博士後期課程	27
学校案内図	28

神戸女学院大学大学院

*ミッションステートメント

神戸女学院大学大学院は、学ぶ者と働く者が共に学院標語「愛神愛隣」に基づくキリスト教の精神を分かち合い、時代の潮流に流されることなく、置かれた場で、利害を超え、自らの役割を感知し、果たし、人にとって真に大切なものを見分ける、共感性の高い人格への成長を目指します。

*ディプロマ・ポリシー

神戸女学院大学大学院は、キリスト教主義の伝統ある女性高等教育機関として、学院標語「愛神愛隣」に基づいて、置かれた場で時代の潮流に流されることなく利害を超えて自らの役割を果たす、他者と深く共感する人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、学位論文・最終試験を含む修了要件を満たした人に対して修士の学位を授与します。

1. 高度な専門的なものの見方や表現力、専門的技術を体系的に備え、専門的技術を活かした教育・研究キャリアに従事する能力
2. 共感性の高い人格的教養を備え、専門領域の知識や技術を有効に社会に還元する能力
3. 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造する能力
4. 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理的意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くす能力

また、上記のような人格に必要な以下の能力を修得し、学位論文・最終試験を含む修了要件を満たした人に対して博士の学位を授与します。

1. 専門領域のより深い知識と思考力を備え、自立した研究者、指導者としての能力
2. 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造する能力
3. 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理的意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くす能力

修士、博士の学位に伴う学位論文の審査あるいは最終試験においては、公開発表会を行います。

*カリキュラム・ポリシー

神戸女学院大学大学院は、ディプロマ・ポリシーに定めた人格を養成するために、文学研究科（博士前期・後期課程）、人間科学研究科（博士前期・後期課程）、音楽研究科（修士課程）を置き、次のような方針に基づいて教育科目を設定します。

1. 学生が高度な専門的学術理論・技術を修得し、研究することができるようになるための科目を設定すること（専門科目）
2. 学生が社会に貢献するために必要なキリスト教精神を育むための科目を設定すること（キリスト教教学）
3. 学生が文化・思想・科学の進歩に寄与する獨創性、論理的思考力、表現力を獲得するための科目を設定すること（演習科目）

教育課程については、体系性・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

*アドミッション・ポリシー

本学大学院のミッションステートメントとディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーをよく理解し、それぞれの研究科・専攻の教育課程を履修するために必要な学力を備えた人を受け入れます。その目的を達成するため、入学試験を下記の通り実施します。

博士前期課程、修士課程

1. 高度な専門的知識を深く修得することを志す人

2. 修得した技能を活かし、より善い社会の実現を志す人
3. 他者への共感性を備え、隣人に仕えることを志す人

全ての研究科において、高度な専門的知識を獲得するのに必要な学力（外国語の能力、思考力・表現力）を備えた人を広く受け入れるために、一般入学試験（秋季（全研究科）と春季（文学研究科、人間科学研究科））を実施します。また、文学研究科および人間科学研究科では本学の学部教育に引き続き学びたい人を受け入れるために、内部推薦入学試験（夏季）を実施します。

博士後期課程

1. 高度に専門的なものの見方や表現力、専門的技術を体系的に備え、専門的技術を活かした教育・研究キャリアに従事することができる人
2. 共感性の高い人格的教養を備え、専門領域の知識や技術を有効に社会に還元することができる人
3. 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造することができる人
4. 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くすことができる人

文学研究科、人間科学研究科においては、高度な専門的知識、創造性および表現力を備えているとみなすことのできる人を広く受け入れるために、一般入学試験（春季）を実施し、研究立案力、思考力、表現力、外国語の能力について考査します。

神戸女学院大学大学院文学研究科

文学研究科英文学専攻 博士前期課程

＊ディプロマ・ポリシー

大学院3ポリシーのもと、文学研究科では、人間の精神活動や社会活動への深い洞察力と国際的視野をもって、国際社会や地域社会に貢献する人格を養成します。英文学専攻では、英語を駆使し、未知の事柄について自ら正しく学びを深める能力を持ち、なおかつそれを通して現代社会の諸問題について、人権を尊重しつつ社会に発信する能力を持つ人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、博士前期課程の修了要件を満たした人に対して修士（英文学）の学位を授与します。修了の認定にあたっては、学位論文・学位課題研究の公開審査をうけ、最終試験に合格することが求められます。

1. 国際語である英語を駆使することにより、人文社会科学諸分野の専門領域における高度の知識と技能を得、研究倫理を遵守しつつ明確な問題意識をもって研究課題を探究する能力
2. 英語、日本語および他言語を通し、広く人間の営みおよび国際社会についての学識を備え、社会のさまざまな領域において専門的知識・技能を活かした貢献ができる能力
3. 母語及び英語をはじめとする外国語の高い運用能力とコミュニケーション能力を備え、多様な価値観をもつ他者と共感・共生し、また仲介する能力

＊カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに定めた人格を養成するため、英文学専攻（博士前期課程）には、英文学、英語学、通訳・翻訳、グローバル・スタディーズの4つのコースを置き、それぞれ文学作品とその背景にある思想・歴史・文化の研究及び批評、英語学・言語学の基礎理論及び方法論、通訳・翻訳の理論・技術及びそれに必要な専門領域の知識、国際社会における諸問題の性質と対策に関する理論と応用を、教授・研究します。その目的を達成するため、以下のような基本方針に基づくカリキュラムを編成します。

1. 研究調査能力、言語運用能力、現場における実践的能力を養う科目を設定すること
2. 専門的な知を有機的に結合し、学際的視野に立った総合判断力を養うことのできる教育課程を編成すること、具体的には、
 - i. 英文学コースにおいては、古今の英語で書かれた文学作品およびその批評などを通し、言葉の力や文学作品の重層性や解釈について学び、作品と、その背景をなす社会、文化、歴史などについて自らの視点を見出す能力を養成するような科目群を設置すること
 - ii. 英語学コースにおいては、言語科学の現代の課題に対処する能力を養成するため、英語学・言語学の基礎論理・方法論を学ぶことにより言語という営みの背景にある哲学、数理、対照言語学的視点を養うような科目群を設置すること
 - iii. 通訳・翻訳コースにおいては、通訳研究者として自立できるような能力を養成するため、経験豊かな通訳・翻訳者による演習、講義科目を設置すること
 - iv. グローバル・スタディーズコースにおいては、文化、政治、経済、社会とメディアの分野において豊かな学識を持ち、国際社会で活躍できるグローバル市民を養成するため、講義や研究を全て英語で行い、国際関係、メディアとコミュニケーション、ジェンダーと移民、グローバルビジネスおよび経済の各分野を深く研究することを可能にする科目群を設置すること
3. 高度専門的なキャリア育成のための教育課程や科目を設定し、また高度専門職を目指す社会人学生に配慮した履修プログラムを提供すること
4. 交換留学プログラムや国際プロジェクト等、国際的な研鑽や学術交流の機会をもうけること
5. 修士論文・修士課題研究作成において、高度な専門性を追及するとともに、領域横断的・総合的な視座への研究課題の位置づけをうながす、研究指導体制をとること

上記方針に基づく科目編成においては、体系性・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

＊アドミッション・ポリシー

本学大学院のミッションステートメントと本研究科本専攻のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーをよく理解し、それぞれのコースの教育課程を履修するために必要な学力を備えた人を受け入れます。

1. 英語、日本語をはじめとする諸言語を駆使し、情報を正確になおかつ多角的にとらえ、社会、言語、文化に関わる現代の諸問題を解決する力がある人
2. 英語、日本語および他言語を用いつつ、他者との共感性、多様性への理解力を持ち、その諸問題を論理的に考察し発信する意欲がある人
3. 明確な研究目的をもって課題を積極的に発見し、探求する意欲がある人
4. 本専攻の理念・目的を理解し、自ら学修・研究を進めることができる人

本学の学部教育に引き続き学びたい人を受け入れるために、内部推薦入学試験を実施します。高度な専門的知識を獲得するのに必要な学力（外国語の能力、専門分野を学ぶための基礎知識・技能、思考力・表現力）を備えた人を広く受け入れるために、一般入学試験を実施します。多様な経験やキャリアをもとに、より高い専門性を目指したい人のために、外国人留学生入学試験、社会人入学試験を実施します。

文学研究科比較文化学専攻 博士前期課程

＊ディプロマ・ポリシー

大学院3ポリシーのもと、文学研究科では、人間の精神活動や社会活動への深い洞察力と国際的視野をもって、国際社会や地域社会に貢献する人格を養成します。

比較文化学専攻では、比較文化的な知識・教養と思考力・判断力を備え、それをさまざまなかたちで社会に活かすことのできる人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、博士前期課程の修了要件を満たした人に対して修士（比較文化学）の学位を授与します。修了の認定にあたっては、学位論文の公開審査をうけ、最終試験に合格することが求められます。

1. 人文社会科学諸分野の専門領域における高度の知識・技能と、学際的・総合的な知性を備え、研究倫理を遵守しつつ明確な問題意識をもって研究課題を探究する能力
2. 広い視野と豊かな学識を備え、社会のさまざまな領域において専門的知識・技能を活かした貢献のできる能力
3. 母語及び外国語の高い運用能力とコミュニケーション能力を備え、多様な価値観をもつ他者と共感・共生し、また仲介する能力

＊カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに定めた人格を養成するため、文学研究科比較文化学専攻（博士前期課程）では、哲学・美学・思想・教育、歴史学、文学及び社会科学の諸分野をふまえ、文化・思想・宗教・歴史・芸術その他の視点から、日本をはじめ諸地域の個々の文化を探究し、比較研究をおこないます。

そのため、以下のような基本方針に基づくカリキュラムを編成します。

1. 各専門分野における高度な専門的知識・技能を身につける科目を設定すること
2. 専門的な知を有機的に結合し、学際的視野に立った総合判断力を養うことができるよう、日本文化系科目（A群）と比較文化系・比較社会系科目（B群）両群の履修を課し、さらに他専攻の科目履修を可能にする教育課程を編成すること
3. 専門的な指導のもとで各自の研究課題を深め、修士論文を作成するための研究指導科目（比較文化学特別研究）を設置すること
4. 多彩な専門領域をもつ比較文化学専攻院生全員と教員が集う場での研究報告を通じて、総合的・領域横断的視座への研究課題の位置づけを促す科目（比較文化学総合演習）を設置すること
5. 高度専門的なキャリア育成のための教育課程や科目を設置し、また高度専門職を目指す社会人学生に配慮した履修プログラムを提供すること

6. 交換留学プログラムや国際プロジェクト等、国際的な研鑽や学術交流の機会をもうけること

上記方針に基づく科目編成においては、体系的・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

*アドミッション・ポリシー

本学大学院のミッションステートメントと本研究科本専攻のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーをよく理解し、博士前期の教育課程を履修するために必要な学力を備えた人を受け入れます。

1. 本専攻が求める高度の専門的知識や実践的スキルに関わる基礎をもった人
2. 国際的視野に立った研究を遂行する基礎となる知識と能力をもった人
3. 明確な研究目的をもって課題を積極的に発見し、探求する意欲がある人
4. 本研究科の理念・目的を理解し、自ら学修・研究を進めることができる人

本学の学部教育に引き続き学びたい人を受け入れるために、内部推薦入学試験を実施します。高度な専門的知識を獲得するのに必要な学力（外国語の能力、専門分野を学ぶための基礎知識・技能、思考力・表現力）を備えた人を広く受け入れるために、一般入学試験を実施します。多様な経験やキャリアをもとに、より高い専門性を目指したい人のために、外国人留学生入学試験、社会人入学試験を実施します。

大学院文学研究科博士後期課程

*ディプロマ・ポリシー

大学院3ポリシーのもと、文学研究科博士後期課程では、人間の精神活動や社会活動への深い洞察力と国際的視野をもって、国際社会や地域社会に貢献する人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、博士後期課程の修了要件を満たして博士学位論文を提出した人に対して、博士（文学）の学位を授与します。博士学位の認定にあたっては、学位論文の公開審査をうけ、最終試験に合格することが求められます。

1. 人文社会科学分野の専門領域における高度で先端的な知識・技能を備え、研究倫理を遵守しつつ独創的な研究を遂行する能力
2. 広い視野と豊かな学識を備え、自立した研究者や指導者として、あるいは専門的職業人として活動できる資質と能力
3. 母語及び外国語の高い運用能力とコミュニケーション能力を備え、研究の成果を国内外に発信して社会に還元する能力

*カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに定めた人格を養成するため、文学研究科博士後期課程に、英文学専攻（英文学コースおよび英語学コース）、比較文化学専攻の2専攻を置きます。博士前期課程で身につけた学識と能力をさらに発展させ、研究者として自立した活動をおこなうのに必要な高度の研究能力を養い、博士学位の取得を目標とした研究指導をおこないます。

英文学専攻（英文学コースおよび英語学コース）においては、以下の方針でカリキュラムを編成します。

英文学コース

1. 専門分野における高度の専門知識・技能と研究手法を身につけ、自らの研究課題を深化・発展させるための科目を設置すること（アメリカ文学特論、イギリス文学特論）
2. 専門的な指導のもとで各自の研究課題を深め、博士学位論文の執筆をすすめるための研究指導科目を設置すること（博士論文執筆演習）

英語学コース

1. 専門分野における高度の専門知識・技能と研究手法を身につけ、自らの研究課題を深化・発展させるための科目を設置すること（言語理論特論、言語学特論）
2. 専門的な指導のもとで各自の研究課題を深め、博士学位論文の執筆をすすめるための研究指導科目を設置すること（博士論文執筆演習）

比較文化学専攻においては、以下の方針でカリキュラムを編成します。

1. 各専門分野における高度の専門知識・技能と研究手法を身につけ、自らの研究課題を深化・発展させるための科目を設置すること（比較文化学特殊研究）
2. 専門的な指導のもとで各自の研究課題を深め、博士学位論文の執筆をすすめるための研究指導科目を設置すること（比較文化学合同演習）
3. 多彩な専門領域をもつ比較文化学専攻院生全員と教員が集う場での研究報告を通じて、総合的・領域横断的視座への研究課題の位置づけを促す科目（比較文化学総合演習）を設置すること

上記方針に基づく科目編成においては、体系的・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

*アドミッション・ポリシー

本学大学院のミッションステートメントと本研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーをよく理解し、教育課程を履修するために必要な以下の学力を備え、博士論文執筆をめざす人を受け入れます。

1. 各専攻・コースが求める高度の専門的知識や実践的スキルに関わる基礎をもった人
2. 国際的視野に立った研究を遂行する基礎となる知識と能力をもった人
3. 明確な研究目的をもって課題を積極的に発見し、探求する意欲がある人
4. 研究者や指導者、あるいは専門的職業人を目指し、自ら創造的研究を進めることができる人

博士前期課程における研究成果をふまえて、さらに高度な専門的研究をすすめるのに必要な学力（外国語能力、専門分野を学ぶための知識・技能、思考力・表現力）を備えた人を受け入れるために、一般入学試験を実施します。海外において修士課程を修了し、より高い専門性を目指したい人のために、外国人留学生入学試験を実施します。

2026年度 大学院文学研究科博士前期課程入学試験要項

1. 入 学 定 員

英 文 学 専 攻 13名
 (英 文 学 コ ー ス)
 (英 語 学 コ ー ス)
 (通訳・翻訳コース)
 (グローバル・スタディーズコース)
 比 較 文 化 学 専 攻 5名

2. 出 願 資 格

次の各項のいずれかに該当する女子。

1. 大学を卒業した者及び2026年3月末までに卒業見込みの者
2. 学位授与機構により学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
6. 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
7. 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

3. 試 験 日

a. 秋 季 試 験	b. 春 季 試 験
2025年9月18日(木)	2026年2月19日(木)

4. 試験科目・試験時間割及び試験場

専 攻	科 目	時 間	試験場 (予定)
英 文 学 専 攻 (英文学コース)	英 米 文 学 に 関 す る 英 語 に よ る エ ッ セ イ	10:40~12:00 (80分)	L-28
	英 語	13:00~14:20 (80分)	
	面 接	15:00~	L-35
英 文 学 専 攻 (英語学コース)	英 語 学 ・ 言 語 学 に 関 す る 英 語 に よ る エ ッ セ イ	10:40~12:00 (80分)	L-28
	英 語	13:00~14:20 (80分)	
	面 接	15:00~	L-35
英 文 学 専 攻 (通訳・翻訳 コース)	実 技 (同 時 ・ 逐 次 ・ 翻 訳)	10:40~ ※実技試験の時間は予定です。	※当日指示 します
	英 語	13:00~14:20 (80分)	L-28
	面 接	15:00~	L-35

専 攻	科 目	時 間	試験場 (予定)
英文学専攻 (グローバル・ スタディーズ コース)	グローバル・スタディーズに 関する英語によるエッセイ	10:40～12:00 (80分)	L-28
	英 語	13:00～14:20 (80分)	
	面 接	15:00～	L-35
	■英文学専攻グローバル・スタディーズコース課題図書について 「グローバル・スタディーズに関する英語によるエッセイ」のための 課題図書を指定します。 本大学院文学研究科 WEB サイトで確認してください。 (http://www.kobe-c.ac.jp/master-l) WEB をご覧になれない方は、文学研究科まで直接ご連絡ください。 ☎ 662-8505 兵庫県西宮市岡田山 4 番 1 号 神戸女学院大学大学院文学研究科 TEL. 0798-51-8557 FAX. 0798-51-8532 E-mail g-office@mail.kobe-c.ac.jp		
	論 文	10:30～12:00 (90分)	L-34
	外 国 語	13:00～14:20 (80分)	L-28
	(英・独・仏・中国語より 1 か国語。 辞書は試験当日、本学が準備します)		
	面 接	15:00～	L-36

注意：試験場は p.28「学校案内図」参照のこと。

都合により、試験場は変更されることもありますので、当日の案内・掲示に従ってください。

5. 受験上の注意

- ・試験開始10分前までに試験場に入場し、各自指定された席に着席してください。
- ・試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験できません。それぞれの試験の退出可能時間は、試験開始後20分以後です。
- ・受験票は必ず携行してください。万一紛失したり、忘れた場合は、大学院文学研究科事務室に申し出てください。
- ・答案は必ずHBの黒鉛筆（シャープペンシルは0.5mm以上の芯）で記入してください。
- ・不正行為者には直ちに退場を命じ、全科目を無効とします。
- ・試験場においては、すべて監督者の指示に従ってください。
- ・その他
 - (1) 自動車の学内乗り入れは禁止しています。
 - (2) 携帯電話等は鳴らないようにしてその他の荷物に入れてください。
 - (3) 試験場から離れるときは、貴重品を必ず携行してください（紛失の責任は一切負えません）。

6. 出願期間・方法

1. 期 間

a. 秋 季 試 験	b. 春 季 試 験
2025年 8 月25日(月)～ 9 月 2 日(火)	2026年 1 月26日(月)～ 2 月 3 日(火)

2. 提 出 先 〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山 4 番 1 号
神戸女学院大学 大学院文学研究科

3. 方 法 郵送による出願（書留速達）に限ります（締切日消印有効）。

7. 出 願 手 続

〔Ⅰ〕出願書類

1. 志 願 票 本学所定の用紙
2. 成績証明書 出身大学の成績証明書
3. 研究計画書 英文学専攻：本学所定の用紙（グローバル・スタディーズコース
志望の場合は英語で記入）
比較文化学専攻：A4／縦置き・横書き
※必ず、本研究科 Web サイトトップページ掲載の「研究計画書
テンプレート」から Word ファイルをダウンロードして作成
してください。

注）なお、受験票は出願締切後、郵送します。

〔Ⅱ〕入学検定料の納入方法

入学検定料 35,000 円

1. 入学検定料は銀行等の金融機関の窓口からの振り込みに限ります。郵便局からの振り込みはできません。また、現金自動支払機（ATM）による振り込みは、受け付けません。
2. 振込用紙〈(C)・(D)票〉は、志願票〈(A)票〉及び受験票〈(B)票〉と一連つづりとなっていますので、必要事項をすべて記入のうえ、そのまま切り離さずに、入学検定料と振込手数料を添えて金融機関の窓口に提出してください。
3. 振り込んだ後、(A)・(B)・(C)票を受け取り、(A)・(C)票に金融機関の収納印があることを確認してください。
※収納印がない場合は、振り込んだ金融機関で押印してもらってください。
4. (A)・(B)票を出願書類に同封してください。
5. (C)票は領収書です。本人が大切に保管してください。

〔Ⅲ〕出願要領

1. 出願書類は本学所定の封筒を使用し、必ず書留速達で郵送してください。
2. 内容に不備がないか、郵送前によく確認してください。

〔Ⅳ〕出願上の注意

1. 出願後は志望専攻の変更を一切認めません。
2. いったん納入された入学検定料及び提出書類は返還しません。
3. 障害のある志願者で、受験及び入学後の就学について特に配慮を必要とする場合は、出願期間開始までに大学院文学研究科事務室へ必ずご連絡ください。なお、必要に応じて健康診断書等の提出を求める場合があります。

8. 志願票・受験票記入上の注意

志願票は(A)～(D)の各票からなっています。記入に際しては黒のボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で正確明瞭に記入し、該当事項は○で囲んでください。なお、※印の欄は記入しないでください。

誤って記入した場合は、訂正箇所には二重線を引き押印のうえ、正しく記入してください。また、必ず自筆で記入してください。記入にあたっては、12ページ「志願票・受験票記入例」を参照してください。

先方銀行欄<(D)票>

希望する銀行の番号を○で囲んでください。

志望専攻<(A)・(B)票>

志望専攻及び該当するコードを記入してください。

なお、英文学専攻志願者は括弧内に「英文学」・「英語学」・「通訳・翻訳」・「グローバル・スタディーズ」のいずれかを記入してください。

英文学専攻(英文学):「701」 英文学専攻(英語学):「702」 英文学専攻(通訳・翻訳):「711」 英文学専攻(グローバル・スタディーズ):「703」 比較文化学専攻:「713」

社会人入学<(A)・(B)票>

14ページから記載の「社会人入学」で出願される方のみ、「有」を○で囲んでください。

志願者氏名<(A)～(D)票>

志願者の本名を楷書で丁寧に記入してください。外国籍の者が通称名を用いる場合は、登録原票記載事項証明書に記載されている通称名に限ります。(A)・(B)・(D)票には必ずフリガナを明記してください。

生年月日<(A)票>

西暦及び元号で記入してください。

志願者への連絡先住所欄<(A)・(D)票>

本人への連絡先(郵便番号・住所・電話番号)を記入してください。

「市」の場合、都道府県は省略してください。

番地は算用数字で記入してください。丁目・番地等はハイフン「-」を使用してください。

なお、この住所宛に受験票及び判定結果通知書を送付します。

学歴・職歴欄＜(A)票＞

志願者本人の最終学歴まで記入してください。

職歴もあれば（現職がある場合は特に詳しく）併せて記入してください。

通訳・翻訳コース志願者は、通訳・翻訳に関する学習歴、職歴も記入してください。

（別紙添付可）

選択外国語欄＜(A)票＞

受験希望の外国語を○で囲んでください。

長期履修制度希望＜(A)票＞

いずれかを○で囲んでください。

聴講希望＜(A)票＞

不合格の場合の聴講希望について、いずれかを○で囲んでください。

写真＜(A)・(B)票＞

写真は次のものを用い、裏面に氏名を明記し、貼付してください。

(1) 最近3ヶ月以内に撮影した写真（カラーも可）

(2) 大きさは縦4cm×横3cm

(3) 正面・上半身・無帽で背景は無地のもの

注）志願票提出後の変更は一切認めません。

志願票・受験票記入例

(A)

2026年度 神戸女学院大学大学院 文学研究科（博士前期課程）志願票

志望専攻	英文	学専攻（英文学）	コード	7 0 1	社会人入学	有	受験番号	※
志願者氏名	フリガナ	姓	名	生	年	月	日	
	漢字	姓	名	2000	3	昭和	平成	15
				年	10	月	12	日生
志願者への連絡先	郵便番号	6 6 2 - 8 5 0 5	電話番号	0798・52・0955				
	都道府県		市区郡	西宮市				
	町村番地	岡田山4-1						
	マンション名等号室	岡田山マンション201						
				写真		縦4cm×横3cm 裏面に氏名を明記し貼付すること。		

整理番号
900595

学歴・職歴 (西暦で記入)	2019年4月～2022年3月	兵庫県私立神戸女学院(高等学校)	卒業
	2022年4月～2026年3月	神戸女学院大学 文学部 英文学科	卒業見込
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
外国語選択	(受験希望の外国語を) 英・独・仏・中・日		
比較文化学専攻志望者	長期履修希望		
有	無	聴講希望	有

注) ※欄および裏面は記入不要

(B)

2026年度
神戸女学院大学大学院
博士前期課程
受験票

裏面の注意書をよく読むこと。※は記入不要

※第	番	社会人入学	有
文学研究科		英文学	学専攻
(英文学)			
氏名	神戸花子		
FERIGANA (ローマ字)	KOBE HANAKO		
出身校	神戸女学院 大学 文学部 英文学科 専攻		

写真

縦4cm×横3cm

裏面に氏名を明記し貼付すること。

○ローマ字は、ヘボン式で姓・名の順に書く。
○試験当日は、本票を必ず持参すること。

(C)

2026年度
神戸女学院大学大学院
文学研究科(博士前期課程)
入学試験検定料
領収書

受取人	学校法人 神戸女学院
志願者氏名	神戸花子 殿
上記のとおり領収しました。	
学校法人 神戸女学院	
本人保管	
整理番号	900595

(受付銀行→本人)

(D)

2026年度 神戸女学院大学大学院
文学研究科(博士前期課程) 入学試験検定料

振込依頼書 電信扱 科目 ※

依頼日	(西暦) 年 月 日	振込指定	電信扱	手数料	※	金額	※
先方銀行 (取りまとめ店)	① 三菱UFJ銀行 西宮支店	普通	1 1 1 3 8 2 0	金 額	¥	3 5 0 0 0	
	2 三井住友銀行 甲東支店	普通	3 9 4 0 5 1 2	現 金			
受取人 口座名	ガク) コウベジョガクイン			当手 枚			
	学校法人 神戸女学院			他手 枚			
整理番号		900595					
志願者	(カタカナ) 氏名	姓 コウベ 名 ハナコ					
	(漢字) 氏名	姓 神 戸 名 花 子					
	連絡先住所	〒(662-8505) 西宮市岡田山4-1 岡田山マンション201 ☎(0798) 52 - 0955					

銀行取扱期間(期間外取扱不可)

・(秋季)2025年8月25日から9月2日まで
・(春季)2026年1月26日から2月3日まで

(受付銀行保管)

9. 判定結果通知

a. 秋季試験	b. 春季試験
2025年9月24日(水)	2026年2月24日(火)

上記日付で志願者全員に書留郵送で判定結果を通知します。また、合格者には入学手続案内を同封します。

10. 入学手続

a. 秋季試験合格者	b. 春季試験合格者
2025年10月10日（金）までに入学申込金（入学金と同額）を納入し、Web入学手続を完了の上、必要書類を提出してください。この手続をおこなわない場合は入学許可を取り消します。授業料・その他の諸費（前期分）は2026年3月24日（火）までに納入しなければなりません。なお、入学手続完了後、2026年3月31日（火）必着で文書にて入学辞退届を提出した場合には、授業料・その他の諸費の前期分相当額のみ返還します。 ※詳細は判定結果通知時に交付する入学手続案内に記載します。 ※入学申込金（入学金と同額）は、授業料・その他の諸費の納入と同時に入学金として取り扱います。	2026年3月24日（火）までに入学金と授業料・その他の諸費（前期分）を納入し、Web入学手続を完了の上、必要書類を提出してください。この手続をおこなわない場合は入学許可を取り消します。 なお、入学手続完了後、2026年3月31日（火）必着で文書にて入学辞退届を提出した場合には、授業料・その他の諸費の前期分相当額のみ返還します。 ※詳細は判定結果通知時に交付する入学手続案内に記載します。

11. 納 付 金（2026年度）[2025年7月時点]

	英 文 学 専 攻 (英文学・英語学・グローバル・スタディーズ) 比較文化学専攻		英文学専攻（通訳・翻訳）	
	初 年 度 納付金（年額）	入 学 手 続 時 納 付 金	初 年 度 納付金（年額）	入 学 手 続 時 納 付 金
入 学 金	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円
授 業 料	403,000円	201,500円	403,000円	201,500円
教育充実費	134,000円	67,000円	134,000円	67,000円
演 習 費			170,000円	85,000円
合 計	737,000円	468,500円	907,000円	553,500円

- 注意事項**
- (1) 入学金は初年度のみ徴収します。
 - (2) 神戸女学院大学卒業後、本大学院に入学する者は、その入学金を半額（100,000円）とします。
 - (3) 他にめぐみ会〔同窓会〕入会金10,000円（本学院出身者は不要）を後期に徴収します。
 - (4) いったん納入された入学申込金または入学金は、返還しません。
- ※ 上記納付金及び入学検定料には、消費税は課されません。

12. 社 会 人 入 学

注）英文学専攻（通訳・翻訳コース）の募集はありません。

- (1) 募 集 人 員 若干名（ただし、英文学専攻〈英文学・英語学・グローバル・スタディーズ〉は春季募集のみ）
- (2) 出 願 資 格 次の各項いずれかに該当するとともに、豊富な社会経験（企業、官公庁、教育・研究機関、医療・福祉・保健機関等での勤務経験）を3年以上有する女子。
またはこれに準ずる社会経験を有すると本大学院が認めた女子。
 1. 大学を卒業した者及び2026年3月末までに卒業見込みの者
 2. 学位授与機構により学士の学位を授与された者
 3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者
 4. 文部科学大臣の指定した者
 5. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
 6. 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
 7. 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (3) 試 験 日 一般入学試験（秋季募集及び春季募集）と同じ。

(4) 試験科目・試験時間割及び試験場

専 攻	科 目	時 間	試験場 (予定)
英 文 学 専 攻 (英文学コース) (※春季のみ)	英 米 文 学 に 関 す る 英 語 に よ る エ ッ セ イ	10:40~12:00 (80分)	L-28
	英 語	13:00~14:20 (80分)	
	面 接	15:00~	L-35
英 文 学 専 攻 (英語学コース) (※春季のみ)	英 語 学 ・ 言 語 学 に 関 す る 英 語 に よ る エ ッ セ イ	10:40~12:00 (80分)	L-28
	英 語	13:00~14:20 (80分)	
	面 接	15:00~	L-35
英 文 学 専 攻 (グローバル・スタ ディーズコース) (※春季のみ)	グローバル・スタディーズに 関する英語によるエッセイ	10:40~12:00 (80分)	L-28
	英 語	13:00~14:20 (80分)	
	面 接	15:00~	L-35
英 文 学 専 攻 (グローバル・スタ ディーズコース) (※春季のみ)	■英文学専攻グローバル・スタディーズコース課題図書について 「グローバル・スタディーズに関する英語によるエッセイ」のための 課題図書を指定します。 本大学院文学研究科 WEB サイトで確認してください。 (http://www.kobe-c.ac.jp/master-l) WEB をご覧になれない方は、文学研究科まで直接ご連絡ください。 ☎662-8505 兵庫県西宮市岡田山 4 番 1 号 神戸女学院大学大学院文学研究科 TEL. 0798-51-8557 FAX. 0798-51-8532 E-mail g-office@mail.kobe-c.ac.jp		
比較文化学専攻	論 文	10:30~12:00 (90分)	L-34
	外 国 語 (英・独・仏・中国語より 1 か国語。 辞書は試験当日、本学が準備します)	13:00~14:20 (80分)	L-28
	面 接	15:00~	L-36

注意：試験場は p.28 「学校案内図」参照のこと。

(5) 受験上の注意 一般入学試験（秋季募集及び春季募集）と同じ。

(6) 出願期間・方法 一般入学試験（秋季募集及び春季募集）と同じ。

(7) 出 願 手 続

〔I〕出願書類

1. 志 願 票 本学所定の用紙
2. 成績証明書 出身大学の成績証明書
3. 研究計画書 英文学専攻：本学所定の用紙（グローバル・スタディーズコース志望の場合は英語で記入）
比較文化学専攻：A4／縦置き・横書き
※必ず、本研究科 Web サイトトップページ掲載の「研究計画書テンプレート」から Word ファイルをダウンロードして作成してください。

注）なお、受験票は出願締切後、郵送します。

- 〔Ⅱ〕 入学検定料の納入方法
 - 一般入学試験（秋季募集及び春季募集）と同じ。
- 〔Ⅲ〕 出願要領
 - 一般入学試験（秋季募集及び春季募集）と同じ。
- 〔Ⅳ〕 出願上の注意
 - 一般入学試験（秋季募集及び春季募集）と同じ。
- (8) 志願票記入上の注意
 - 一般入学試験（秋季募集及び春季募集）と同じ。
- (9) 判定結果通知
 - 一般入学試験（秋季募集及び春季募集）と同じ。
- (10) 入 学 手 続
 - 一般入学試験（秋季募集及び春季募集）と同じ。
- (11) 納付金（2026年度）
 - 一般入学試験（秋季募集及び春季募集）と同じ。

13. 長期履修制度

(1) 趣 旨

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）で修了することが困難な学生を対象としています。事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位の取得を可能とする制度です。

(2) 申請資格

長期履修学生として申請することができる者は、標準修業年限で修了することが困難であると研究科長が認めた次のいずれかに該当する者です。

- ① 職業を有している者
- ② 育児、長期介護等の事情により、学習時間の制約を受ける者
- ③ その他やむを得ない事情を有する者

(3) 長期履修期間

在学年数（博士前期課程4年）の範囲内で、1年単位で長期履修期間を定めることができます。

休学期間は在学年数に含みませんが、引き続き2年、通算3年を超えて休学することはできません。

(4) 学生納付金

授業料：標準修業年限（2年）に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付します。

$$\text{長期履修による授業料年額} = \text{通常の授業料年額} \times \text{標準修業年限（2年）} \div \text{長期履修許可年限}$$

教育充実費：標準修業年限（2年）の間は、所定の額。それ以降は半額。

演習費（通訳・翻訳コース）：標準修業年限（2年）の間は、所定の額。

それ以降は半額。

休学期間は在籍料として60,000円を前期及び後期それぞれの学費納期に納付します。

(5) 申請方法

入学試験願書提出と同時に申請し、研究科委員会による審査を経て許可を決定します。

申請には下記の書類が必要です。

- ・長期履修申請書
- ・長期履修計画書

(6) 長期履修期間の変更

一旦、申請した長期履修期間の変更はできません。

(7) 登録単位数の上限

長期履修制度を適用している学生の登録できる単位数は年間22単位までとする。

神戸女学院大学大学院

文学研究科概要

■ 英文学専攻

博士前期課程

英米文学及び英語学に関して、総合的な見地に立ちながら個々の専門分野を究めることを趣旨とする。従って、できるだけ多様な担当者による多角的な講義を提供し、学生が各自の研究方針に応じて適宜に選択できるように配慮してある。

修業年限 2年

修了要件 32単位＋修士論文

修得学位 修士（英文学）

専修免許 教科「英語」の中学校・高等学校一種普通免許状取得者は、教科「英語」の中学校・高等学校専修普通免許状をそれぞれ取得することができる。

<英文学コース>

授業科目

英文学演習（詩）	イギリス研究	米文学特殊講義Ⅱ
英文学演習（小説）	アジア研究	比較文学演習
英文学演習（劇）	英語翻訳（文学）	キリスト教学
米文学演習（詩）	英文学特殊講義Ⅰ	学術論文執筆法
米文学演習（小説）	英文学特殊講義Ⅱ	
アメリカ研究	米文学特殊講義Ⅰ	

授業担当者（2025年度）

教授

和 氣 節 子	英文学
山 内 理 恵	イギリス文学

准教授

古 東 佐知子	アメリカ文学（小説）
南 出 和 余	メディア学・文化人類学
Goran VAAGE	学術論文執筆法・社会言語学

非常勤講師

溝 口 薫	英文学演習（小説）
-------	-----------

<英語学コース>

授 業 科 目

統語論演習

音韻論・形態論演習

意味論・語用論演習

英語学演習

言語理論入門

アメリカ研究

イギリス研究

アジア研究

キリスト教学

英語学特殊講義

言語学特殊講義

言語学基礎演習

応用言語学

学術論文執筆法

授業担当者（2025年度）

教 授

松 尾 歩

立 石 浩 一

英語学

英語学

准 教 授

南 出 和 余

Goran VAAGE

メディア学・文化人類学

学術論文執筆法・社会言語学

非常勤講師

今 泉 志奈子

松 井 理 直

意味論・語用論演習

音韻論・形態論演習

<通訳・翻訳コース>

博士前期課程

通訳者は、通訳内容の背景知識をどれだけバイリンガルで持っているかが問われ、専門領域の知識の蓄積が通訳内容を決定する。本コースは、各分野の深い知識の習得の上に通訳の技術と実践を教え、質の高い通訳者の養成を目的としている。

このコースでは現役の通訳者による通訳技術に関する講義演習だけでなく、さまざまな分野の専門知識を学び、日英両言語において、背景知識を深く理解できる人間性豊かな会議通訳者の養成をめざしている。学内外で開催される会議や講演会等 OJT (On The Job Training) として現場での実践教育も豊富に取り入れている。

翻訳に関しては、翻訳者を志望する学生に対しては実践的な翻訳演習、各分野の専門家による集中講義のほか、出版を前提とした翻訳プロジェクトを実施する。また翻訳研究を志望する学生に対しては、翻訳学の文献講読による基礎知識の習得を経て、本格的な研究活動を目指とする。

対象・目的	主に社会人を対象として、専門職教育を行う
修業年限	2年
修了要件	32単位＋修士論文または課題研究
修得学位	修士（英文学）
専修免許	教科「英語」の中学校・高等学校一種普通免許状取得者は、教科「英語」の中学校・高等学校専修普通免許状をそれぞれ取得することができる。
開講時間帯	平日（火～金）19：00～20：30　土曜日　9：00～17：00
開講場所	神戸女学院大学 ＊遠隔地から受講する方法もあります。ご相談ください。

授業科目

同時通訳演習Ⅰ	専門領域通訳特論（政治・経済）Ⅱ
同時通訳演習Ⅱ	専門領域通訳特論（自然科学）Ⅰ
同時通訳演習Ⅲ	専門領域通訳特論（自然科学）Ⅱ
逐次通訳演習Ⅰ	言語学基礎演習
逐次通訳演習Ⅱ	応用言語学
通訳理論・教授法Ⅰ	通訳実践特別講義
通訳理論・教授法Ⅱ	翻訳実践特別講義
翻訳演習Ⅰ（ビジネス翻訳）	通訳実習Ⅰ
翻訳演習Ⅰ（一般翻訳）	通訳実習Ⅱ
翻訳の理論と実践Ⅰ	通訳実技
翻訳の理論と実践Ⅱ	アメリカ研究
翻訳理論・教授法Ⅰ	イギリス研究
翻訳理論・教授法Ⅱ	アジア研究
Public SpeakingⅠ	キリスト教学
Public SpeakingⅡ	学術論文執筆法
専門領域通訳特論（政治・経済）Ⅰ	比較文学演習

授業担当者（2025年度）

准 教 授

Susan E. JONES

翻訳学

南 出 和 余

メディア学・文化人類学

中 村 昌 弘

通訳

Goran VAAGE

学術論文執筆法・社会言語学

非常勤講師

Jacob DUNLAP

翻訳実践特別講義

井 口 耕 二

翻訳実践特別講義

賀 来 華 子

通訳実践特別講義

瀧 本 眞 人

通訳実践特別講義

田 辺 希久子

翻訳演習

丹 埜 段

通訳実践特別講義

山 田 優

翻訳実践特別講義

＜グローバル・スタディーズコース＞

博士前期課程

グローバル化が進む中、国際社会で活躍できる人材が広く求められるようになった。グローバル・スタディーズコースは、国際社会における諸問題の性質や対策について高い専門性及び幅広い教養を備わっている人材の養成を目的としている。本コースでは、主に4つの分野において研究をおこなうことができる。

- ・ジェンダーと移民
- ・国際関係
- ・メディア
- ・国際ビジネス

国際社会で活躍する人材を育成するために、本コースに3つの特徴がある。

1. コースは全て英語でおこなわれる。
2. 国際人材に必要なリーダーシップやグローバル・リテラシーの実践的能力を養成する。
3. 在籍中にインターンシップやフィールドワークで学問の実践をおこなう。

修 業 年 限 2 年

修 了 要 件 32単位＋修士論文

修 得 学 位 修士（英文学）

専 修 免 許 教科「英語」の中学校・高等学校一種普通免許状取得者は、教科「英語」の中学校・高等学校専修普通免許状をそれぞれ取得することができる。

授 業 科 目

国際地政学分析	国際研究プロジェクトⅠ
グローバル・リーダーシップ	国際研究プロジェクトⅡ
国際社会と変化	アメリカ研究
国際ビジネスと起業	イギリス研究
国際関係特論	アジア研究
国際コミュニケーション特論	キリスト教学
国際社会特論	学術論文執筆法
グローバル経済特論	

授業担当者（2025年度）

教 授

Shawn BANASICK

山 崎 幸 治

准 教 授

南 出 和 余

瀬 戸 智 子

Goran VAAGE

アメリカ研究

開発経済学

メディア学・文化人類学

日本近現代文化史・ジェンダー研究

学術論文執筆法・社会言語学

■ 英 文 学 専 攻

博士後期課程

研究者として自立して研究活動をおこなうに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

総合的な見地に立ちながら個々の専門分野を究めることを趣旨として一定の成果を得てきた博士前期課程の特色を、博士後期課程においても、生かしたい。細分化された「専門」を越えた幅広い分野の研究が、特定の研究テーマを深く究明し、一人前の研究者としての能力の証となる博士論文に結実する研究活動と不可分に重要であることを強調する。英文学専攻においては、細く屹立するオベリスク型よりは底辺部の広いピラミッド型の研究者が究極的にはより高きに達し、教育者としてもおそらくはより望まれるであろう、と考えるからである。

< 英文学コース >

授 業 科 目

アメリカ文学特論Ⅰ
アメリカ文学特論Ⅱ
イギリス文学特論Ⅰ
イギリス文学特論Ⅱ
博士論文執筆演習Ⅰ
博士論文執筆演習Ⅱ

授業担当者（2025年度）

教 授

和 氣 節 子 英文学

<英語学コース>

授業科目

言語理論特論

言語学特論

博士論文執筆演習Ⅰ

博士論文執筆演習Ⅱ

授業担当者（2025年度）

教 授

松 尾 歩 英語学

立 石 浩 一 英語学

■ 比較文化学専攻

博士前期課程

本専攻は、哲学・美学・思想・教育、歴史学、文学及び社会科学の諸分野をふまえて、文化・思想・宗教・歴史・芸術その他の視点から比較研究をおこなうことを目的とする。帰属する文化共同体によって異なる人間の思考や経験、文化。これらを研究対象に、各分野の基本的な研究方法を学び、個別の事象を複眼的に捉え、分析する力を養う。文学・思想研究と歴史研究を軸として、日本をはじめとする諸地域の個々の文化の探究と、異文化理解の促進と深化を目指す。

修 業 年 限 2 年

修 了 要 件 36単位＋修士論文

修 得 学 位 修士（比較文化学）

専 修 免 許 教科「社会」の中学校一種普通免許状、教科「地理歴史」の高等学校一種普通免許状、教科「国語」の中学校・高等学校一種普通免許状取得者は、所定の単位を修めるとそれぞれ下記の免許状を取得することができる。

教科「社会」中学校専修普通免許状

教科「地理歴史」高等学校専修普通免許状

教科「国語」中学校・高等学校専修普通免許状

授 業 科 目

日本文化論	日本史演習	キリスト教学
日本語学演習	比較宗教学	比較社会学特論
日本語学特殊講義	比較思想Ⅰ	比較文化学特殊講義
日本文学特殊講義Ⅰ	比較思想Ⅱ	比較文化学特殊研究 aⅠ
日本文学特殊講義Ⅱ	比較文化・文学Ⅰ	比較文化学特殊研究 aⅡ
日本文学演習Ⅰ	比較文化・文学Ⅱ	比較文化学特殊研究 bⅠ
日本文学演習Ⅱ	比較社会史	比較文化学特殊研究 bⅡ
日本語学特殊研究	国際文化論Ⅰ	比較文化学総合演習Ⅰ
日本文学特殊演習	国際文化論Ⅱ	比較文化学総合演習Ⅱ
日本文学特殊研究	文化基礎論Ⅰ	
日本史特殊講義	文化基礎論Ⅱ	

授業担当者（2025年度）

教 授

岩 間 文 雄	社会福祉学
景 山 佳代子	社会学
金 田 知 子	社会福祉学
川 瀬 雅 也	哲学、倫理学

河 島 真	日本近現代史
桐 生 裕 子	西洋史
小 林 隆 道	東洋史・中国史
藏 中 さやか	日本古典文学
栗 山 圭 子	日本中世史
三 木 順 子	美学・芸術学
三 杉 圭 子	アメリカ文化・文学
中 野 敬 一	キリスト教学
奥 野 佐矢子	教育哲学・人間形成論
清 水 学	文化社会学
建 石 始	日本語学・日本語教育学
米 田 眞 澄	法学

准 教 授

朴 秀 娟	日本語教育学
傳 喆	経済学
藤 岡 達 磨	社会学
大 澤 香	キリスト教学、宗教学
戸 江 哲 理	社会学

専 任 講 師

田 村 美由紀	日本近現代文学・ジェンダー批評
---------	-----------------

■ 比較文化学専攻

博士後期課程

本専攻では、博士前期課程で身につけた幅広く豊かな学識をさらに高度化しつつ、比較文化学的な視点から特定の専門領域・テーマの研究をおこなう。専門領域に対する垂直方向の「掘り下げ」だけでなく、異論や異領域とも対話しうる水平方向への「開かれ」の能力をも養いながら、研究者として自立した活動をおこなうことや博士学位を取得することを目標に研究能力を養い、討議の場を重ね、自らの研究成果を積み上げていく。

授業科目

比較文化学合同研究A

比較文化学合同研究B

比較文化学特殊研究

比較文化学総合演習Ⅲ

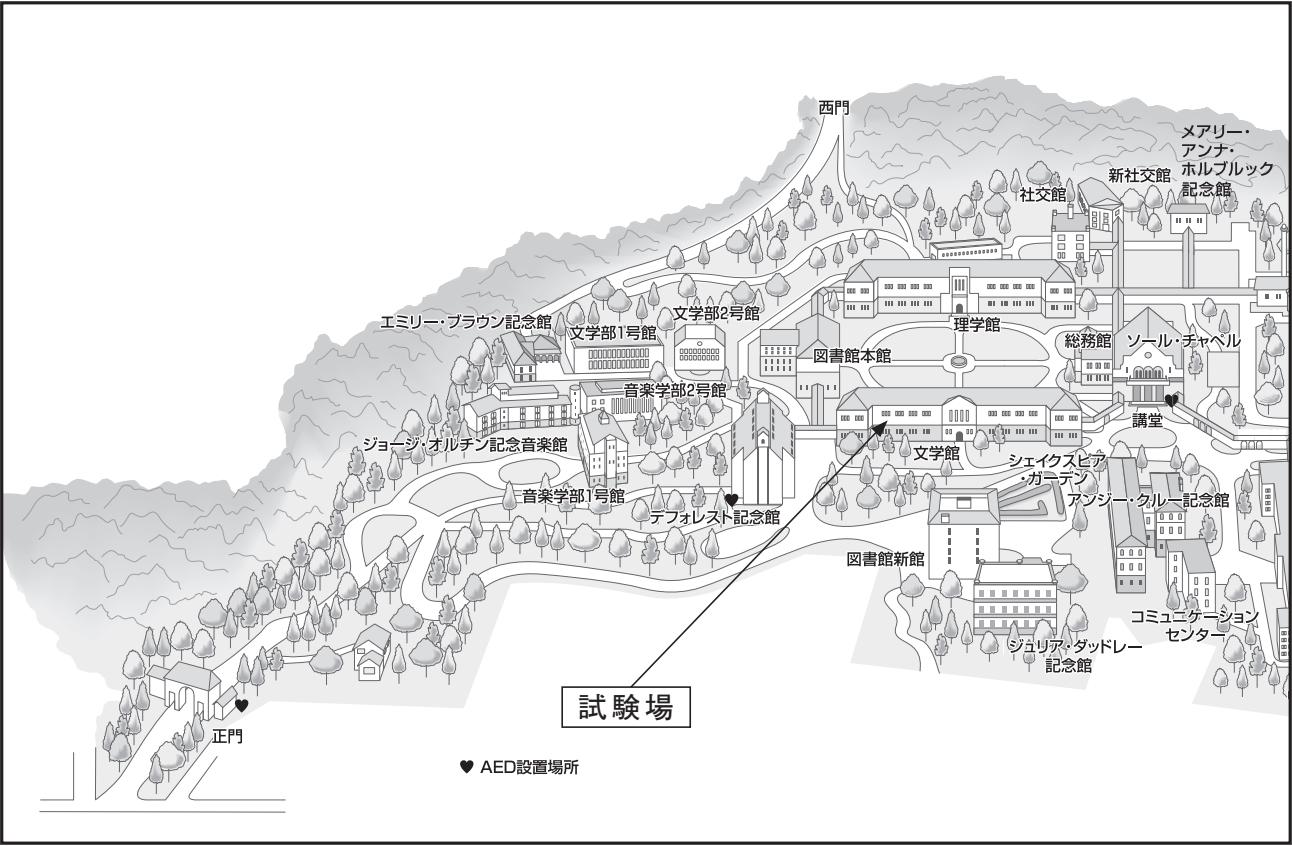
授業担当者（2025年度）

教 授

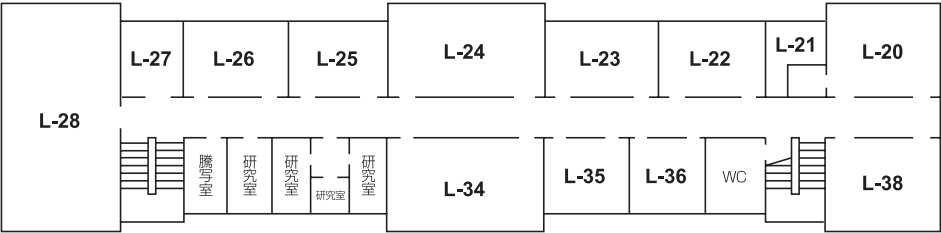
岩 間 文 雄	社会福祉学
景 山 佳代子	社会学
金 田 知 子	社会福祉学
川 瀬 雅 也	哲学、倫理学
河 島 真	日本近現代史
桐 生 裕 子	西洋史
小 林 隆 道	東洋史・中国史
藏 中 さやか	日本古典文学
栗 山 圭 子	日本中世史
三 木 順 子	美学・芸術学
三 杉 圭 子	アメリカ文化・文学
中 野 敬 一	キリスト教学
清 水 学	文化社会学
建 石 始	日本語学・日本語教育学
米 田 眞 澄	法学

学校案内図

< 学内図 >

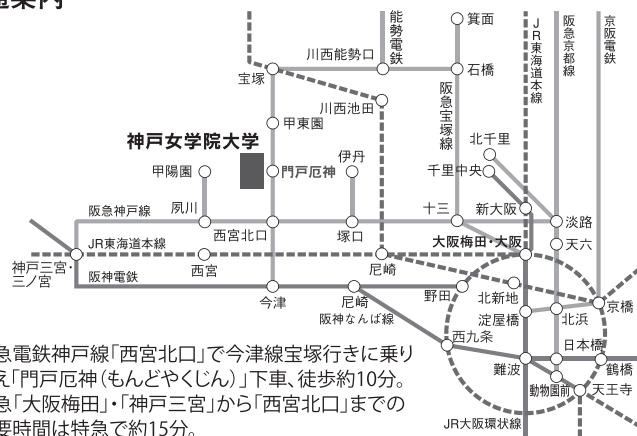


< 試験場 >



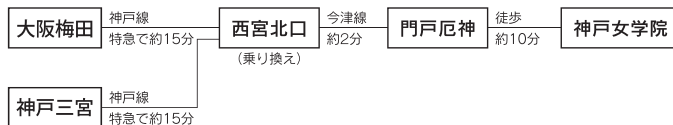
文学館2階

交通案内

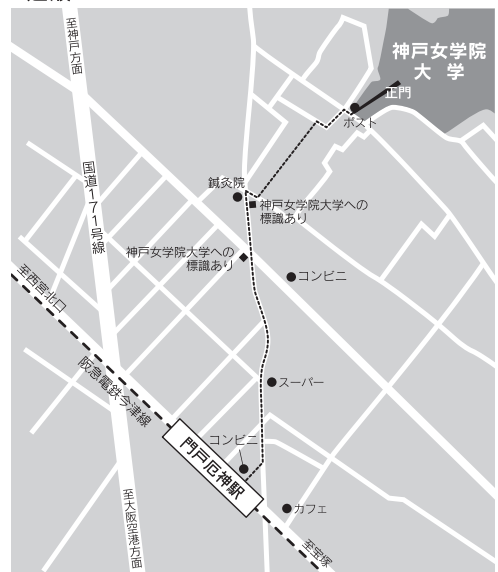


阪急電鉄神戸線「西宮北口」で今津線宝塚行きに乗り換え「門戸厄神(もんどやくじん)」下車、徒歩約10分。
阪急「大阪梅田」・「神戸三宮」から「西宮北口」までの所要時間は特急で約15分。

阪急電鉄



道順



神戸女学院大学 大学院文学研究科

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4番1号 ☎(0798)51-8557